横濱支那街ニ得タル楊桃

モ其培

方

實

Ŀ 鐘鼓

記

||支那

類

打

チ

育ラ

シ

テ之ヲ追

フ

=

ŀ

アリ爲ニ他郷

ノ人ニ

ハ奇觀

タルヲ失

٠,

ズト

ジテ此 ナ 答

=

掲グ

jν

果實 時ヲ期シ

1

圖

客年

九月横濱市

中ノ支那街ヲ搜シテ

種

ノ果實ヲ得

タリ試

=

支那

=

問

~

楊桃

þ 久

ラガ

チ

求

メ

· テ 歸

ij

知己

横濱植物會々員

內

清

孝

國

人

晳 F

セ

日

ŋ

の廣東附近

近

=

於テ

ハ秋頭其果質大樹

ニ質リ屢鳥

類 X

來リ襲フ所

ŀ 丽

jν

ヲ

Ú

テ

Ħ

4

テ

果實

極

メテ美麗

ナ

jν

漿

果

シ

テ五錠稜ヲ

有シ

果膚平滑熟シテ黄色ヲ呈シ多肉多漿

Ž

果肉ヲ

有

ス此

果

肉

٠,

果實

jν iv 地

テ ス 或

澶 支 那 街 得 夕 ル 楊

桃

ヲ得 學者 養 ED 街 バズト 在 度 ハ セ = 本品 得 テ v = 雖ド 樹 在 タル æ 亦 ヲ テ 其 熟 モ 毛 本 モ 蓋 樹 自 n 也 ノヲ寫生 ヲ è ッ w ラ 栽植 野外 元 æ カ þ 島 , 新世界ノモ シ ハ果中ニ糖分ヲ生ジテ甘酸宜シキ セ (馬來多島海中ノ一群 テ其果實ヲ得ルヲ待 jν 生ズル樹(天然生ニハ非ラズ)ニ ナリ但シ其葉花圖ハ之ヲ書ヨリ轉寫 ノナ ルベ シ þ 島 ツ即チ支那 盲 ノ原産 ij 結ブ ナ 二適ヒ以 , y 南方暖地 ŀ Æ 言ヒ又或ル學者 , セ シテ食用 ハ ŋ 酸味 モ亦其栽植區域 ŀ 峻 ナ 烈之ヲロ **≥**⁄ 得 ハ其原産 べ + 1 = v = 二屬 至ル 地 テ辟 ハ今之ヲ 故 セ 易 ŋ ス 而 印 ŀ 詳 度 シ

行 充分能 形 未熟すぐり 足 則 揷 ビリ又之 圖 の成熟 果 就 蕳 硬質部ヲ除 テ見 ス 砂糖 味 v 時 w ァ アカカ 'n ベ ハ 茰 半 シ 透明 果中 ヘテ Ξ 能 其果肉ヲ以テ美味ノ果膠ヲ造ルベシ、 ク熟 食シ或ハ製シテ舎利別トナス 又酷漬品トナス ŀ 假種皮ヲ具フル平扁多種子ヲ歳ス而シ ナリテ琥珀色ヲ呈 乜 バ强烈 = シテ爽快ナルまるめろ様 コスル = 至ル果將 叉其果汁 = 孰 ラ此 セ ノ香ヲ放チ ン ŀ 、亞麻布 如ク ス 適 'n 多漿 一種 ス叉酸 = 及 二附著 ナ 特 べ 别 ニ過ギテ生食ニ適 w. ノバ ア以 セ 則 ナ jν チ ル鐵銹ヲ 風 略 テ 食 味 ボ ラ ヲ す ノ渴ヲ醫 洗 生 v ば ズ 其果 去 及 セ ザ وع ス



葉-並穗花同

シ

テ花

ノノ枝

=

満ツル時望

觀

殊

佳

ナ

リ

= w

3 =

テ橢圓

形

3

胚 Ŧî.

軸 室 ۲ y +

微小

桃 (圖縮) 實 果

常

1

小

樹

=

シ

テ繁ク枝ヲ分

チ高

丈

木

生

奇數

狀

複

葉ヲ呈

シニ乃

至 サ

亦對

有 3/ 綠

シ之 ラ

=

觸 33

が自

1ラ 感覺

アリ

枝

極

Æ 五.

3

リ八月

1 V

候

=

發ラ

牛 3

テ短

花

穗

ヲ

ク

花冠

ハ五瓣

y

成 ス

テ白

伍

五花柱 然リト 楊桃 ナ 或 半乃至二 ý, テオ 繁殖 色 シ + 幹上 時 相 セ ハ アリ、 駁 樹葉ノ かたばみ ハ暗褐色ヲ呈ス ŀ 云 w Averrhoa Carambola 一ノ小枝 一銳尖頭 一
文
許 種子 ハル フ、 テ 姿顔ル 種子 花 = ۱ر 其 卵形 'n 科 花中二十雄蘂 ハ 依 , 出 形 w = 美觀 子葉 チ小 屬 ヅ 葉 ノ小葉ヲ ス ۱ر 萼っ 互 = ハ之ヲ生ズ クニ月 w ハ平扁廣闊

7 ۱۷

ッ其外 毛ナ

方

ハ葯ヲ缺

如

雖

F*

Æ

ŀ

7 五.

y

子房 ヲナ

シ

テ

翌年 甘 支那 ۸ر モ 九月 シ 妙 月 ŀ 街 ナ 下 雖 = ŋ 廛 至 旬 1. iffi 舗蜜藏 テ熟 æ 3 形 候 テ 味 葉 二成熟 ス 即 頗 果 チ w ヲ 腫 珍 售 ス 物 此 年兩度果實 B in 之ヲ赕 時 w アラ失 熟ヲ 再ピ 同 シュ 促 ۱ر 時 ズ 1 ガ 收穫アルナ 酸 = ス 花 味旣 = ヲ發 効 ァ ラ 去リ盡シテ y y ク ŀ 花 而シテ苗· 云 後 果實

タ

ナ シテアリスト Averrhoes 氏(第十三世紀ノ初年ニ死ス)ノ名譽表彰ノ為 トル 氏並 ŀ アヴィセ 云フ其屬名 Averrhoa ナ氏著書ノ名高 ハ西班 + 註 牙 × 解

横濱支那街ニ得タル楊桃

(38) 其姓ヲ取リテリン ハー名陽桃、 ネ氏ノ命名シタル 一名羊桃、 一名洋桃 Æ ト云フ又五歛子、五稜子、 ノナリ而シ テ其種名 Carambola ハ印度ノ土言ニ基キ シ ŧ ナ

行 大 本品 諸郡 くまるんが、ふりちト云ヒビルマノ土言ニテハコうんぎあト云フ而シテ印度ニハ往昔ヨ 酢ニシ 同屬中楊 稜ヲ呼ンデ飲トナ 香味ナク且酸 印度ニー變種 萄牙人ノ渡セ 作ス皮肉詭軟其味初酸ク久シテ甘シ其核奈ノ如シ五月熟シー樹數石ヲ得ベシ十月再ビ熟ス蜜ヲ以テ之ヲ漬ク甘 其大サ拳 本草綱目 衆果ト参食スルニ尤モ宜シ(原ト漢文)ト 「ハ梵語ニかるまらト稱シ印度ノ土言ニテハかむらく、 三出ヅ南人稜ヲ呼デ廉ト爲ス三廉ト名クト テ美ナリ俗亦晒乾シ以テ果ニ充テ食フ、 卷 心ノ三十 如シ其色青黃潤綠形チ甚ダ詭異、 類似 カラズ他ノ砧木ニ接ギテ繁殖セシ シ アリちーにーくむるんがト呼ブ果實小ニシテ普通品ノ半バアリ熟シテ深綠色ヲ呈シ普通品 モノナラント云ヘリ ス故ニ以テ名トナス 一(果ノニ、夷果類)ニ著者李時珍ノ曰ク五斂子ハ嶺南及ビ閩中ニ出ヅ閩人呼 種アリ Averrhoa Bilimbi L. 卜云 狀田家 2 雖ドモ或ハ五六稜ナル者ア 又三廉子アリ蓋シ亦此類ナ ト稱 ノ碌碡ノ ス支那 たまらとんが、 如シ上ニ五稜アリテ ノ俗之ヲ三捻 五瓣子、五梭子ノ別名アリ五歛子ノ名 、リ陳新に かまらんが、 リ之ヲ食フニ汁多シ味甘クシテ且 ト呼ブ本 刻 暢ガ異物志ニ云ク三廉 ヘムガ 樹 ノ強 リ之レアリ蓋シ始 くるむるんが、 如 力、 ハ亦奇數 起 ン デ楊桃 ごテ劍脊 羽 へ南 みいた ノ如 い熙安 小為 形ヲ 複葉 ダ新 *

ヲナシ其小葉 テラ或 ラ鈍稜ア 原卜新世 蓋 シ本種 ハ長 橢圓形或ハ披針形ヲ呈シ萼ニ毛アリ花ハ赤紫色ニシテ花穗直チニ幹ニ出ヅ果實ハ長橢圓形 界 銳稜 ヲ 指 Æ テ ナ ダ ラン ト同ジカラズ而シテ種子ニ w Ŧ ŀ ノ評アリ然ドモ今ハ諸方ニ ナラン見ルベシ三廉三捻音相邇 ハ假種皮之レ 植栽 キ 也 ラ ナ シ v 果實食用ニ 本品亦楊桃 供 ト同ジ スペ シ前掲本草 ク其原産地

百文

詳